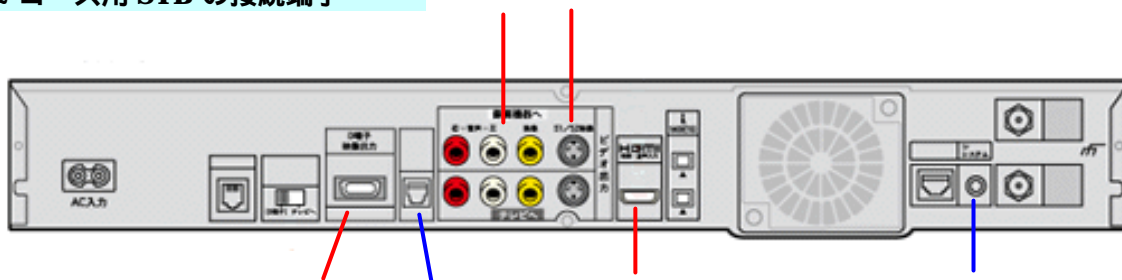


『録×2コース用STBの接続端子について』

最近の TV やレコーダーには様々な接続端子が装備されています。ZTV の多チャンネルサービスで使用する各種チューナー機器にもいろいろなものがあり、お使いの環境に合った端子を使用する必要があります。今回は、ZTV の STB で最も多くの端子がついている録×2(ろくろく)コース用 STB の接続端子の種類と特徴についてご紹介します。

録×2 コース用 STB の接続端子



映像系の主な端子

どのケーブルを繋げばいいのかな？



HDMI

「High Definition Multimedia Interface」の略で、デジタル信号でテレビとの接続を行う事ができます。映像・音声・制御信号を合わせて送受信でき、制御信号を双方向に伝送させることができます。各信号が一体化していますので、ケーブル 1 本で接続でき、配線が簡単になります。

D 端子

映像の入出力端子です。「DIGITAL」の D と思われがちですが、形状が D の字の形になっているのが名前の由来です。D1～D5 端子までの 5 つの規格があり、数字が大きいほど高精細・高解像度の映像信号に対応しています。(デジタル・録×2コースでは D4 まで対応しています)

その他の端子

光デジタル音声出力端子

ケーブルに光ファイバーを使います。AAC アンブやスピーカーシステムに接続でき、5.1ch スピーカーシステムを接続すれば、より臨場感ある音声が楽しめます。

映像・音声端子

ピン端子とも呼ばれます。映像・音響機器などで広く使われている電気信号をやりとりする端子です。一般的な TV であればほぼ全て備わっています。

S 端子

映像の入出力端子です。S 端子の S はセパレートを意味しており、輝度信号と色信号が別々に伝送されます。そのため、色が急激に変化するとき、色の境界に明滅が発生するノイズが起き難くなっています。通常の S 端子にワイド映像を識別する信号が付加された S1/S2 端子があります。(デジタル・録×2コースでは双方に対応しています)

Ir システム

“Ir”は「Infrared(赤外線)」の略で、赤外線を利用してテレビが録画機器を制御するシステムのことです。Ir システム対応の録画機器と接続・設定することで、録画等の一部操作が STB 側からできるようになります。

今回、取り上げた端子以外については、機器の取り扱い説明書をご参照ください。各端子の特性を把握し、お使いのテレビに適した端子で接続することで、より高品質な映像・音声をお楽しみいただくことができます。